

1 取り組み紹介

地域金融機関や地域経済を支える 第三金融事業本部の取り組みについて

NTT データ 第三金融事業本部（以下、三金本部）は信用金庫、信用組合、労働金庫、JA バンクをお客様とした共同利用型バンキングシステムの提供を軸に、食農ビジネス、インドネシア向けマイクロファイナンスなど幅広く事業を推進している。安定的なシステム提供を続ける一方、社会状況の変化に対応するお客様のニーズに応える取り組みを強化している三金本部の活動について紹介する。

地域金融機関や地域経済の様々な課題に向き合う三金本部「マーケティングチーム」を組成

三金本部の主要なお客様である地域金融機関が支える地域経済は大変厳しい環境下にあり、「人口減少」、「少子高齢化」、「商店街・繁華街の衰退」等の課題が顕在化している。

またその地域経済に根を張る地域金融機関にとっても同様に、地域経済の疲弊による収益環境の圧迫により、より一層の「事務コスト低減」、「新たなビジネスモデルの確立」が求められている。SDGsの視点からも、地域経済をいかに支援していくかが喫緊の課題になっている認識である。

そういった中、三金本部は2020年4月、戦略ビジネス本部内に「マーケティングチーム」を立ち上げた。

「マーケティングチーム」は、

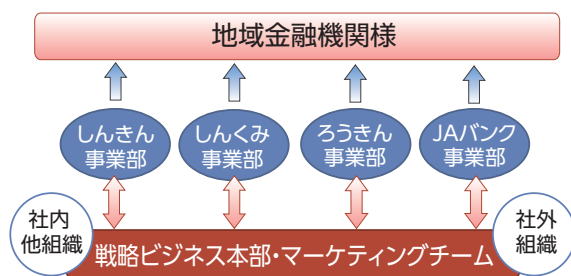


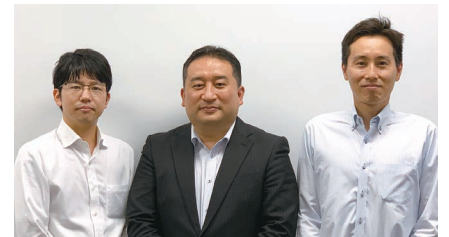
図1 組織体制図

NTTデータの総合力を発揮し、デジタルで地域金融機関・地域社会の変革に貢献することをビジョンとして掲げ、三金本部内の各事業部と一体となって地域金融機関や地域経済の課題に向き合うことを目的としたチームである（図1）。

NTTデータの総合力を発揮し、地域金融機関に寄り添った「早く・安く・最適なサービス」をご提案したい

従来は個別組織単位でサービスを検討することが多く、NTTデータが持つケイパビリティやノウハウを十分に有効的に活用できていたとは言いがたかった。また「私たち自身が本当にお客様ニーズや事業環境を十分に理解しているか」という問いに対して、まだまだ努力が足りない部分があるのではないかと考えている。

そういった従来のアプローチ方法を改善し、三金本部内が一体となって企画提案を進めていく体制や戦略を実行するのが、「マーケティングチーム」のミッションであり、具体的には、図2に記載のとおり、3つ



株式会社 NTT データ 第三金融事業本部
戦略ビジネス本部 システム企画担当
(左から) 課長代理 樋口 大輔氏
部長 伊勢谷 岳志氏
課長 野口 健太氏

の施策を実現していく。

① 私たち自身がデジタルで変わることを「早く・安く・最適なサービス」をご提案していくためにも、組織内の情報流通が欠かせない。「マーケティングチーム」はクロスファンクショナル組織として情報の集約化と流通を担い、同様のソリューションは共通化を検討したり、横串でのご提供を検討することで、より「早く・安く・最適なサービス」を実現したいと考えている。

また公知情報等をもとにしたマーケティング分析ツール等の導入検討を行い、よりお客様を理解した提案ができる下地を作っていく。

まずはNTTデータやNTTグループの商品を知ってもらえていない現状を変えていきたい。また、その商

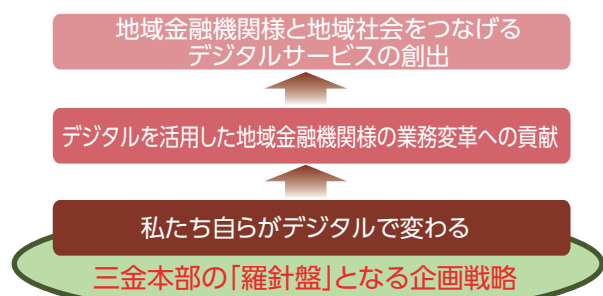


図2 マーケティングチームのミッション

品を必要としているお客様やお客様内組織に必要な情報をお届けすることが大切だと考えている。我々のお客様組織は全国組織から各地域の個別組織まで幅広い。その隅々まで情報を届けると共に適切なお提案を行えるようにしたい。

② デジタルを活用した地域金融機関の業務変革への貢献

冒頭で述べたとおり、地域金融機関における「事務コスト低減」は喫緊の課題であり、この領域に貢献するソリューションを積極的に推進していく。

具体的には、JAバンク事業部の「相続支援システム」、しんきん事業部の「窓口アプリ」、ろうきん事業部の「BPO」である。

これらについては、地域金融機関の「事務効率化」に寄与する取り組みであり、地域金融機関が本来注力したい業務に専念していただくためにも、システムや事務集中機能を提供することでご支援していきたいと

考えている。

一方、最新のデジタル技術活用にフォーカスしたソリューションとしては、戦略ビジネス本部の「AI分析基盤」、「CONTIMIXE® AI (FAQ)」がある。

これらについては、

NTTデータ社内の技術開発部隊と密に連携した開発アプローチを取っており、最新の技術を地域金融機関にとって、より使いやすいサービスとしてご提供が可能になるよう工夫している。

③ 地域金融機関と地域社会をつなげるデジタルサービスの創出

3つ目の施策として掲げたテーマが、「地域金融機関と地域社会をつなげるデジタルサービス」である。

地域金融機関は地域経済と向き合って事業運営していることから、NTTデータ自身が地方創生に寄与する様々なソリューションやサービスを生み出し、地域金融機関と地域経済を繋げるお手伝いをしたいと考えている。

具体的な取り組みとしては、農業従事者の生産性向上と農業組合担当者と生産者とのつながりを目指した営農支援プラットフォーム「あい作®」の提供や老後の3K「健康不安」「孤独不安」「経済不安」解消につながる健康寿命の延伸

につなげるサービスなどに取り組んでいる。

地域金融機関と地域社会をつなぐハブになるサービ

スをご提供することで、地域経済の活性化に貢献していきたいと考えている。

業態の異なる地域金融機関が協調領域については話し合える場を提供できないか

最後に、NTTデータ三金本部ではマーケティングチームを中心に、お客様へこれまで以上の価値提供を進めるために「NTTデータの総合力の発揮」を目指していく。

例えば、三金本部だけでも、信用金庫・信用組合・労働金庫・JAバンク等の多種多様な地域金融機関がバンキングサービスをご利用いただいております。またNTTデータ全体に目を向けると様々な法人企業様、公共団体とのリレーションがある。

こういった様々なお客様をつなぐ役割を担うことで、「NTTデータならではの価値提供」ができないかを追求していきたい。

また、地域金融機関が、協調して事業運営しても差し支えない領域については、それらをつなぎ合わせることで更なるコスト低減や付加価値創出が図れないか、そういったことを議論する場や議論するための様々なツールやデータ分析基盤などをNTTデータが提供していく。

私たち「マーケティングチーム」は地域経済を支える地域金融機関へより一層の貢献を実現すべく、従来の発想に捉われない、新たな価値提供を三金本部一体となって実現していきたい。

お問い合わせ先 |

NTTデータ株式会社
第三金融事業本部 戦略ビジネス本部
システム企画担当マーケティングチーム
050-5546-9982

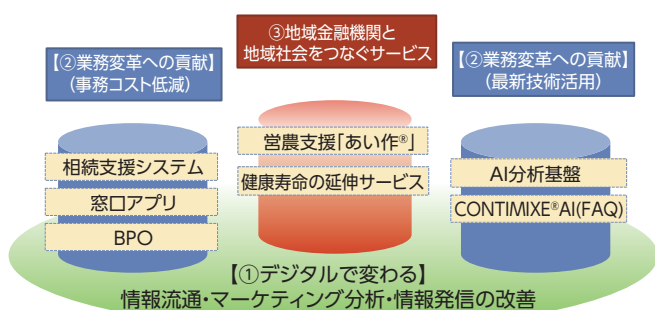


図3 三金本部としての具体的な取り組み全体像